

YA コンサート 「音楽が彩る本の世界」 開催レポート

★当日の様子

11月25日（土）に中央図書館にて、YA コンサート「音楽が彩る本の世界」が開催されました。YA のみなさんがオススメする本を紹介し、その本に関連した音楽や、本を読んでイメージした音楽を演奏するというものです。

昨年も大好評だった、本も音楽も楽しめる欲張りなコンサート！！ 第2回目となる今回は、常葉学園附属橋高等学校吹奏楽部の皆さんに出演していただきました。この吹奏楽部の特徴は、全員が普通科総合芸術コース（吹奏楽専攻）生であることです。吹奏楽を専門に勉強している生徒さんたちで、クラスも部活も同じなので、「団結力があります！」と部長さんが話してくれました。

YA コンサートは午後1時30分からでしたが、開場前から長い列ができ、開場と同時に多くの人が来場されました。さらに、コンサートが始まるころには、用意した150席がほぼ満席となりました。今年はどんな本に出会えるのか、どんな音楽が演奏されるのか、期待が高まっています。

そして、いよいよコンサートが始まりました。注目すべき第1曲目は、シンデレラでおなじみの「ビビディ・バビディ・ブー」です。紹介された本は「ぐりとぐら」。中川李枝子さん、大村百合子さんのコンビが描く、のねずみのぐりとぐらのお話。長い間読み継がれてきた名作です。のねずみのぐりとぐらが森で大きなたまごを見つけ、何を作ろうか悩んだ末に、2匹はカステラを作ることになりました。おいしそうなおいに誘われて集まった森の動物たちと仲良くカステラを分け合う、ぐりとぐら。「ビビディ・バビディ・ブー」の音楽を聞いているうちに、私も楽しそうな様子を思い浮かべることができました。来場者からも手拍子が起こり、会場はまさに「ぐりとぐらの魔法」にかかったような楽しい雰囲気になりました。



（1曲目を演奏している皆さん。ミッキーやミニーのカチューシャがとってもキュート！）

絵本「スイミー」のイメージとして選んだ曲は、「アンダー・ザ・シー」。絵本「スイミー」は、

教科書でもおなじみのレオ・レオ二の名作です。たくさんいる赤い魚の中で1匹だけ黒い魚のスイミー。孤独を感じていた彼が自分の役割を見つけ、仲間と共に大きな魚に立ち向かっていく様子は、勇気を与えてくれます。そんなスイミーの暮らす海の世界、スイミーや赤い魚たちの様子を音楽と頭の飾りで表現してくれました。



(絵本を紹介している様子です。自分の体験も交えて話してくれました。)



(「アンダー・ザ・シー」を演奏中の皆さん。ダイナミックな演奏に、来場者も引き込まれていました。)

来場者アンケートで「いちばん心に残った本」に選ばれたのは、恩田陸の「ライオンハート」で

した。この本のイメージとして選んでくれたのは、SMAPの「ライオンハート」。知っている方も多い、この楽曲。来場者の皆さんの中には、サビを一緒に口ずさんでいる方もいらっしゃいました。

恩田陸が描く切ないラブストーリーがSMAPの歌詞と重なり、会場の皆さんの印象に残ったのではないのでしょうか。



(来場者の皆さんも切ないメロディーに聞き入っていました。)

当日は、会場の後方に、紹介された本や演奏された楽曲が入っているCDを展示しました。開演前や休憩中に手に取って見てくださる方や、絵本を席に持って行って見ている親子の姿も見えました。来場者の中には、今回紹介した本の中に、子どもの頃読んだ本や子どもに読み聞かせをした思い出の本があった方もいて、懐かしい気持ちになったようです。



(静岡市立図書館に所蔵があるものばかりです。ぜひ、直接手に取ってみてください。)

最後に紹介された本は「だれもが知っている小さな国」です。著者の有川浩は、「図書館戦争」

「植物図鑑」など数多くの話題作を世に送り出している作家で、佐藤さとりが生み出したコロボックルの世界を引き継ぐかたちで書かれた本です。

このコロボックルの世界を「小さな世界」という曲で表現してくれました。



（「小さな世界」を演奏中の皆さん。おそろいにしたサングラスがワイルド！）

14時30分、最後の曲「小さな世界」の演奏が終了し、YAコンサートは無事に終幕を迎えることができました。

今回、YAコンサートに参加するにあたり、吹奏楽部の生徒さんたちは、初めて自分たちで編曲に挑戦しました。普段は先生と相談をしながらやっている編曲を先生に頼らず作り上げたそうです。そして、演奏中に使った小物も、演奏する楽曲に合わせて考えたとのこと。楽曲の雰囲気にも合っていて、より一層盛り上がりを見せていました。

「難しかったことは？」と聞いてみると、「本選び」とのことでした。みんなで持ち寄った本の中から、演奏する楽曲のイメージに合う本を選ぶことがとても難しかったそうです。

みんなで案を出し合い、選び、演奏してくれたプログラムは、部員全員の思いが詰まったものとなり、来場者から「本の内容と楽曲が合っていて良かった！」と多くの声をいただきました。

終始笑顔絶やさず、会場を盛り上げてくれた部員の皆さんに、最後に会場から盛大な拍手が送られました。出演して下さった常葉学園附属橘高等学校吹奏楽部の皆さん、参加して下さった来場者の皆様、ありがとうございました。

（紹介した本と演奏した楽曲の一覧は、末尾の「当日プログラム」をご覧ください！）

★常葉大学附属橘高等学校普通科

総合芸術コース吹奏楽専攻の紹介

常葉大学附属橘中学校・高等学校吹奏楽部は高校1年生18名、2年生18名、3年生19名の計55名で、「自立型人間の育成」を部の教育理念に掲げ、日々活動しております。

我が部の特徴は全員が普通科総合芸術コース（吹奏楽専攻）生である事です。今年度は第23回日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場を果たした他、地域のイベント演奏も積極的に行っていました。現在は、1月の定期演奏会に向けて日々練習に励んでいます。

☆当日のプログラム

（紹介された本や演奏された楽曲の原曲が入ったCDは図書館に所蔵があります。
詳しくは図書館職員までお尋ねください。）

1. ビビディ・バビディ・ブー

（作曲：アル・ホフマン、マック・デビット 編曲：郷間幹男）

紹介された本：『ぐりとぐら』

中川李枝子／さく、大村百合子／え、福音館書店

2. 小さな恋のうた

（作曲：MONGOL800、編曲：郷間幹男）

紹介された本：『ガスパールこいをする』

アン・グットマン／ぶん、ゲオルグ・ハレンスレーベン／え、
石津ちひろ／やく ブロンズ新社

3. 日本の情景「冬」 （編曲：小島里美）

紹介された本：『てぶくろ』

エウゲーニー・M・ラチョフ／え、うちだりさこ／やく 福音館書店

4. アンダー・ザ・シー （作曲：アラン・メンケン 編曲者：三浦秀秋）

紹介された本：『スイミー』 レオ・レオニ／作、谷川俊太郎／訳 好学社

5. ライオンハート （作曲：コモリタミノル 編曲：山下国俊）

紹介された本：『ライオンハート』 恩田陸／著 新潮社

6. **メイク・ハー・マイン** (作曲：E. Leese 編曲：郷間幹男)

紹介された本：『スウィングガールズ』

矢口史靖／著 メディアファクトリー

7. **ひまわりの約束** (作曲：秦基博 編曲：坂井貴祐)

紹介された本：『ふたりはともだち』

アーノルド・ローベル／作，三木卓／訳 文化出版局

8. **前前前世** (作曲：野田洋次郎 編曲：今村愛紀)

紹介された本：『百年後、ぼくらはここにいないけど』

長江優子／著 講談社

9. **ラストシーン** (作曲：水野良樹 編曲：西條太貴)

紹介された本：『ずーっとずっとだいすきだよ』

ハンス・ウィルヘルム／えとぶん，久山太市／やく 評論社

10. **小さな世界** (作曲：シエルマン 編曲：郷間幹男)

紹介された本：『だれもが知ってる小さな国』

有川浩／著，村上勉／画 講談社